

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成25年10月15日

【四半期会計期間】 第27期第2四半期(自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)

【会社名】 株式会社エーアイテイー

【英訳名】 A I T C O R P O R A T I O N

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 矢 倉 英 一

【本店の所在の場所】 大阪市中央区本町二丁目1番6号

【電話番号】 06 - 6260 - 3450 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 経理財務部担当 伊部 己代二

【最寄りの連絡場所】 大阪市中央区本町二丁目1番6号

【電話番号】 06 - 6260 - 3450 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 経理財務部担当 伊部 己代二

【縦覧に供する場所】 株式会社エーアイテイー 東京支社
(東京都港区芝五丁目26番24号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第26期 第2四半期 連結累計期間		第27期 第2四半期 連結累計期間		第26期	
		自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日	自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日	自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日	自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日	自 平成24年3月1日 至 平成24年2月28日	自 平成24年3月1日 至 平成24年2月28日
営業収益	(千円)	8,025,812		9,016,173		16,730,870	
経常利益	(千円)	571,893		669,334		1,292,260	
四半期(当期)純利益	(千円)	331,188		477,261		777,871	
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	345,501		602,257		856,613	
純資産額	(千円)	2,829,108		3,663,773		3,214,425	
総資産額	(千円)	4,157,055		5,227,890		4,543,516	
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	34.66		49.94		81.39	
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)	67.8		69.8		70.4	
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	268,953		425,506		584,989	
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	124,068		205,745		244,898	
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	135,177		155,267		262,370	
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	1,555,984		1,890,132		1,696,516	

回次		第26期 第2四半期 連結会計期間		第27期 第2四半期 連結会計期間	
		自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日	自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日	自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日	自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	19.50		24.57	

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 平成25年3月1日付にて、普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

(日本)

当第2四半期連結会計期間において、連結子会社であった株式会社AITソリューションズは清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済対策や日本銀行の金融政策などを背景に円安の進行と株価の回復が見られ、景気回復への期待感が高まったものの、一方では輸入原材料の高騰や海外景気の下振れ懸念より、依然先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、当社と海外子会社との連携体制の強化を図り、川上から川下まで一貫した国際物流の提案型営業を推進し、新規顧客の獲得、通関受注の拡大に注力してまいりました。また、当社において、当期初から3PL(サードパーティー・ロジスティクス)業務を専属で取扱う部署を新設し、日本国内や海外での3PL案件の獲得に精力的に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益は9,016百万円(前年同期比12.3%増)、営業利益652百万円(前年同期比19.0%増)、経常利益669百万円(前年同期比17.0%増)、四半期純利益477百万円(前年同期比44.1%増)となり、通関受注の拡大効果と、円安による為替換算効果も相まって、いずれも前年同期を上回る結果となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

日本

当第2四半期連結累計期間の当初は、急激な円安の進行が起因となり、日用雑貨や服飾品の取扱企業を中心に商品の輸入時期を見極める動きがありましたが、徐々に為替相場も安定し、海上輸送の取扱高も増加の兆しを見せ始めております。しかしながら、当第2四半期連結累計期間での取扱コンテナ本数は、期間当初での取扱高の伸び悩みが影響したことに加え、値下げ攻勢の強かった大口顧客の貨物量が減少し、新規取引先の貨物量の増加でもカバーしきれず、輸入で79,269TEU(前年同期比1.9%減)、輸出入合計で83,129TEU(前年同期比3.0%減)と前年同期を下回る取扱高となりました。一方で一貫輸送提案の更なる強化が奏功し、通関受注件数は、24,377件(前年同期比10.0%増)と堅調に増加いたしました。また、3PL案件の獲得効果や航空貨物輸送の受注が好調に推移したことに加え、円安によるドル建て運賃収入の増加も収益の押し上げ要因となり、増収増益を記録いたしました。以上の結果、日本における営業収益は7,253百万円(前年同期比6.7%増)、セグメント利益は508百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

中国

中国及び香港の現地法人との2ヶ月の決算日の違いから、本年6月までの日本向け貨物量が好調に推移したことにより、累計期間における中国国内での収益が増加し、更に円安基調に伴い現地通貨の邦貨換算額が増加した結果、営業収益は1,737百万円(前年同期比43.1%増)、セグメント利益は144百万円(前年同期比29.6%増)となりました。

タイ

日本向け貨物が回復傾向で、また円安による為替要因により邦貨への換算額は増加した結果、営業収益は25百万円(前年同期比78.2%増)、セグメント損失は0百万円(前年同期はセグメント利益0百万円)となりました。

(注) TEU(Twenty-foot Equivalent Unit、20フィートコンテナ換算)とは、海上コンテナの数量を表す単位で、20フィートコンテナ1個分を1TEUと計算します。

(2) 財政状態の分析

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ684百万円増加し5,227百万円となりました。これは主に、現金及び預金が396百万円、受取手形及び売掛金が249百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ235百万円増加し1,564百万円となりました。これは主に、買掛金が162百万円、賞与引当金が60百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ449百万円増加し3,663百万円となりました。これは主に、四半期純利益477百万円の計上と為替換算調整勘定が126百万円増加した一方で、剰余金の配当により152百万円が減少したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ193百万円増加し、1,890百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの内訳は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は425百万円(前年同期比156百万円増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益を669百万円計上したことのほか、仕入債務の増加162百万円、預り金の増加87百万円、賞与引当金の増加60百万円等の資金の増加要因に対し、法人税等の支払額307百万円、売上債権の増加249百万円等の資金の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は205百万円(前年同期比81百万円増)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出811百万円の資金の減少要因に対し、定期預金の払戻による収入608百万円の資金の増加要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は155百万円(前年同期比20百万円増)となりました。これは主に、配当金の支払額153百万円による資金の減少要因によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 従業員数

連結会社の状況

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの従業員数は、44名増加しております。主な理由は、業容の拡大に伴い期中採用が増加したことによるものです。

提出会社の状況

当第2四半期累計期間において、当社の従業員数は、22名増加しております。主な理由は、業容の拡大に伴い期中採用が増加したことによるものです。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	26,928,000
計	26,928,000

(注) 平成25年10月4日開催の取締役会決議により、平成25年11月1日付にて、株式分割に伴う定款変更が行われ、発行可能株式総数は26,928,000株増加し、53,856,000株となる予定であります。

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年10月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,877,200	9,877,200	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株数は 100株であります。
計	9,877,200	9,877,200		

(注) 当社株式は完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月1日～ 平成25年8月31日		9,877,200		271,140		221,590

(6) 【大株主の状況】

平成25年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社エイチアンドワイ	大阪市北区大深町3番40号	3,569,800	36.14
馬上真一	千葉県船橋市	512,000	5.18
RBCISTLONDON - LE NDING ACCOUNT (常任代理人 シティバンク銀行 株式会社)	東京都品川区東品川二丁目3番14号	391,100	3.96
ピ・ピ・エイチフィデリティピュ -リタンフィデリティシリ-ズ イントリンシツクオポチユニテイ ズファンド (常任代理人 株式会社三菱東京 UFJ銀行)	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	351,800	3.56
株式会社エーアイティー	大阪市中央区本町二丁目1番6号	320,384	3.24
波床知喜	兵庫県芦屋市	294,000	2.98
矢倉英一	大阪市北区	288,200	2.92
株式会社ドルフィンズ	兵庫県芦屋市高浜町15番2号	206,000	2.09
日本トラスティ・サービス信託銀 行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	152,400	1.54
ノーザントラストカンパニー(エ イブイエフシー)サブアカウント ブリテイツシユクライアント (常任代理人 香港上海銀行東京 支店)	東京都中央区日本橋三丁目11番1号	129,700	1.31
中西総一郎	大阪府箕面市	120,000	1.21
計		6,335,384	64.14

(注) 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 152,100株

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 320,300		
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,554,400	95,544	
単元未満株式	普通株式 2,500		
発行済株式総数	9,877,200		
総株主の議決権		95,544	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式84株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数 の合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社 エーアイティー	大阪市中央区本町 二丁目1番6号	320,300		320,300	3.24
計		320,300		320,300	3.24

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
常務取締役 (総合企画部、海外法人 及び駐在員事務所担当)	常務取締役 (総合企画部長兼海外法人 及び駐在員事務所担当)	波床知喜	平成25年6月1日

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,753,810	3,150,534
受取手形及び売掛金	982,456	1,232,074
その他	471,145	515,866
貸倒引当金	8,565	10,055
流動資産合計	4,198,848	4,888,419
固定資産		
有形固定資産	56,857	54,161
無形固定資産	70,863	64,643
投資その他の資産		
投資有価証券	5,768	6,857
差入保証金	153,062	147,250
その他	58,284	66,855
貸倒引当金	167	297
投資その他の資産合計	216,947	220,665
固定資産合計	344,668	339,470
資産合計	4,543,516	5,227,890
負債の部		
流動負債		
買掛金	616,647	779,611
未払法人税等	309,924	209,821
賞与引当金	37,638	98,506
役員賞与引当金	20,700	12,000
その他	176,223	276,261
流動負債合計	1,161,134	1,376,200
固定負債		
退職給付引当金	123,994	136,392
役員退職慰労引当金	18,680	27,767
その他	25,283	23,756
固定負債合計	167,957	187,916
負債合計	1,329,091	1,564,116

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	271,140	271,140
資本剰余金	221,590	221,590
利益剰余金	2,771,610	3,095,962
自己株式	67,928	67,928
株主資本合計	3,196,412	3,520,764
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	641	770
繰延ヘッジ損益	849	11
為替換算調整勘定	1,908	128,420
その他の包括利益累計額合計	2,116	127,638
少数株主持分	15,896	15,370
純資産合計	3,214,425	3,663,773
負債純資産合計	4,543,516	5,227,890

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業収益		
輸送事業収入	7,994,474	9,016,173
その他事業収入	31,338	-
営業収益合計	8,025,812	9,016,173
営業原価		
輸送事業仕入	6,234,451	6,938,539
その他事業仕入	52,758	-
営業原価合計	6,287,210	6,938,539
売上総利益	1,738,602	2,077,634
販売費及び一般管理費	1,190,334	1,424,948
営業利益	548,267	652,685
営業外収益		
受取利息	4,337	4,814
為替差益	11,743	1,598
その他	8,241	10,915
営業外収益合計	24,322	17,328
営業外費用		
支払利息	375	313
事務所退去費用	85	-
その他	236	365
営業外費用合計	696	679
経常利益	571,893	669,334
特別損失		
固定資産除却損	315	239
特別損失合計	315	239
税金等調整前四半期純利益	571,577	669,094
法人税、住民税及び事業税	255,905	213,105
法人税等調整額	15,792	19,622
法人税等合計	240,113	193,483
少数株主損益調整前四半期純利益	331,464	475,611
少数株主利益又は少数株主損失()	276	1,649
四半期純利益	331,188	477,261

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	331,464	475,611
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	827	128
繰延ヘッジ損益	30	861
為替換算調整勘定	14,833	127,636
その他の包括利益合計	14,036	126,646
四半期包括利益	345,501	602,257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	345,163	602,782
少数株主に係る四半期包括利益	338	525

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	571,577	669,094
減価償却費	18,710	21,525
長期前払費用償却額	112	-
貸倒引当金の増減額（は減少）	2,111	1,619
賞与引当金の増減額（は減少）	30,568	60,867
役員賞与引当金の増減額（は減少）	9,000	8,700
退職給付引当金の増減額（は減少）	11,027	12,398
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	9,340	9,087
受取利息	4,337	4,814
支払利息	375	313
為替差損益（は益）	1,119	1,486
有形固定資産除却損	315	239
預り金の増減額（は減少）	25,011	87,214
売上債権の増減額（は増加）	242,259	249,746
仕入債務の増減額（は減少）	158,599	162,963
その他	30,309	32,537
小計	492,941	728,039
利息の受取額	4,438	5,336
利息の支払額	375	313
法人税等の支払額	228,051	307,554
営業活動によるキャッシュ・フロー	268,953	425,506
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	498,244	811,735
定期預金の払戻による収入	405,437	608,628
有形固定資産の取得による支出	4,095	6,169
無形固定資産の取得による支出	29	10,069
投資有価証券の取得による支出	1,249	1,288
差入保証金の差入による支出	51,150	26,868
差入保証金の回収による収入	25,969	41,661
その他	706	96
投資活動によるキャッシュ・フロー	124,068	205,745
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,200,000	500,000
短期借入金の返済による支出	1,200,000	500,000
リース債務の返済による支出	1,961	1,999
配当金の支払額	133,216	153,267
財務活動によるキャッシュ・フロー	135,177	155,267
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,713	129,123
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	23,421	193,616
現金及び現金同等物の期首残高	1,532,562	1,696,516
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,555,984	1,890,132

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
<p>連結の範囲の重要な変更</p> <p>当第2四半期連結会計期間において、連結子会社であった株式会社AITソリューションズは清算終了したため、連結の範囲から除外しております。</p>

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
<p>販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>給与手当 527,088千円</p> <p>賞与引当金繰入額 67,842千円</p> <p>退職給付費用 15,257千円</p> <p>役員賞与引当金繰入額 12,000千円</p> <p>役員退職慰労引当金繰入額 9,340千円</p> <p>貸倒引当金繰入額 2,057千円</p>	<p>販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>給与手当 645,390千円</p> <p>賞与引当金繰入額 97,025千円</p> <p>退職給付費用 18,888千円</p> <p>役員賞与引当金繰入額 12,000千円</p> <p>役員退職慰労引当金繰入額 9,087千円</p> <p>貸倒引当金繰入額 1,553千円</p>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
<p>現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年8月31日現在)</p> <p>現金及び預金 2,387,333千円</p> <p>預入期間が3ヵ月を超える定期預金 831,349千円</p> <p>現金及び現金同等物 1,555,984千円</p>	<p>現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成25年8月31日現在)</p> <p>現金及び預金 3,150,534千円</p> <p>預入期間が3ヵ月を超える定期預金 1,260,401千円</p> <p>現金及び現金同等物 1,890,132千円</p>

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月18日 定時株主総会	普通株式	133,795	28.00	平成24年2月29日	平成24年5月21日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月5日 取締役会	普通株式	133,795	28.00	平成24年8月31日	平成24年10月26日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月20日 定時株主総会	普通株式	152,909	32.00	平成25年2月28日	平成25年5月21日	利益剰余金

(注) 平成25年3月1日付にて、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。当該株式分割を考慮した場合、1株当たり配当額は16.00円となります。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月4日 取締役会	普通株式	152,909	16.00	平成25年8月31日	平成25年10月25日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	中国 (注)1	タイ	計		
営業収益						
(1) 外部顧客に対する 営業収益	6,796,979	1,214,745	14,087	8,025,812	-	8,025,812
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	18,886	693,624	6,936	719,446	719,446	-
計	6,815,865	1,908,369	21,024	8,745,259	719,446	8,025,812
セグメント利益	474,743	111,811	599	587,154	38,886	548,267

- (注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	中国 (注)1	タイ	計		
営業収益						
(1) 外部顧客に対する 営業収益	7,253,225	1,737,848	25,099	9,016,173	-	9,016,173
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	20,998	818,588	7,455	847,042	847,042	-
計	7,274,223	2,556,437	32,555	9,863,215	847,042	9,016,173
セグメント利益又は損失()	508,143	144,909	367	652,685	-	652,685

- (注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。
2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	34円66銭	49円94銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	331,188	477,261
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	331,188	477,261
普通株式の期中平均株式数(株)	9,556,816	9,556,816

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 平成25年3月1日付にて、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

株式分割

平成25年10月4日開催の当社取締役会において、平成25年11月1日を効力発生日とし、以下のとおり、株式分割を行うことを決議いたしました。

(1) 株式分割の目的

投資家の皆様により投資しやすい環境を整えるため、株式分割を実施することで投資金額を引き下げ、当社株式の流動性の向上及び投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の割合

平成25年10月31日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有株式数を、1株につき2株の割合をもって分割します。

(3) 株式分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式の総数	9,877,200株
株式分割により増加する株式数	9,877,200株
株式分割後の発行済株式の総数	19,754,400株
株式分割後の発行可能株式総数	53,856,000株

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	17円33銭	24円97銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

第27期(平成25年3月1日から平成26年2月28日まで)中間配当については、平成25年10月4日開催の取締役会において、平成25年8月31日の株主名簿に記載された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	152,909千円
1株当たりの金額	16円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成25年10月25日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月15日

株式会社エーアイティー
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 梅 田 佳 成 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 三 宅 潔 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エーアイティーの平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エーアイティー及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。